



飼料米・稲発酵粗飼料に向く水稻新品種

モミロマン

A New High Yielding Rice Cultivar "Momiroman"

「モミロマン」は玄米収量と株全体のTDN収量の両方が高く、関東以西向けの飼料米・稲発酵粗飼料向け品種として期待されています。

食料自給率の向上のために国産飼料の生産拡大が求められています。そこで、生産調整を行っている水田を利用した飼料用水稻、特に飼料米の生産が注目されています。

粗玄米収量が多収です

- 粗玄米重が「タカナリ」より15%、「日本晴」より40%多収です。
- 黄熟期の地上部TDN収量が「タカナリ」より10%。「日本晴」より8%多収です。



モミロマン

タカナリ

粗玄米重(kg/10a)

モミロマン	タカナリ	日本晴
823	718	596

TDN収量(t/10a)

モミロマン	タカナリ	日本晴
1.10	1.00	1.02



モミロマン

タカナリ

日本晴

耐倒伏性に優れ直播栽培に適します

耐倒伏性

モミロマン	タカナリ	日本晴
極強	極強	やや強

「モミロマン」は九州沖縄農業研究センターと共同で開発したものです。

命名の由来:「モミロマン」は、多収の飼料米(粃がたくさんとれる)が普及する期待を「ロマン」に込めました。

「モミロマン」は出穂期が「日本晴」より2日早い中生品種で、関東以西で利用が期待できます。

農研機構 作物研究所 稲研究領域

問い合わせ先:企画管理室 tel:029-838-8260

E-mail: www-nics@naro.affrc.go.jp <http://www.naro.affrc.go.jp/nics/index.html>

2008-I 1 b